

○ 部屋。

Aが旅行鞆二つの前に座っている。辺りに服が散らばっている。

A 「あなたの一応入れてみたけど、いいかどうか確かめて」

B 「いいよ」

A 「……入りきらないよ」

B 「入るだけでいいんだよ。足りなきゃあつちで買えばいい」

A 「そんなこと言ったって……あるもの買うなんて」

B 「パンツなんか五、六枚でいいんじゃないの……」

A 「あつちの人、お尻大きいじゃない。とても日本人にははけないって」

B 「中国人だって韓国人だっているよ」

A、Tシャツを出す。

B 「Tシャツなんて持っていくことないよ。買えばいいよ」

A 「好きなのこれ。売ってる？ 同じもの？」

B 「フォーマルなドレス（スーツ）と靴だけでいいんじゃない」

A 「そんなのもつてないよ、喪服しか、パーティに着ていく服なんて」

B 「フォーマルっていったって客員研究員なんだから大したパーティなんてあるわけないよ」

A 「一年でしょ。旅行じゃないんだよ。春夏秋冬なんだよ」

B 「だから買えばいいんだよ」

A 「そんなお金あるわけ？」

B 「でも、あつちに四季があるのかな」

A 『オータム・イン・ニューヨーク』って歌がある」

B、CDを出し、

B 「持って行きたいヤツある？ CDは売ってないんじゃないかな」

A 「紀伊国屋があつて日本の本があるんでしょ。じゃCDだつてあるんじゃない

し」

B 「好きなのがないかもしれない」

- A 「……行かなくちゃいけないの、私」
B 「どうして？」
A 「行きたくないな、私」
B 「どうして？」
A 「お店があるし」
B 「夫婦（親友・兄弟・姉妹）だろ」
A 「客員何とかの条件じゃないんでしょ」
B 「私ひとりじゃ自信がないの。英語喋れるのが条件だけど、英語、私喋れないのに等しいし」
A 「私だって喋れないよ」
B 「だから心細いんだよ」
A 「だったら行かなきゃいいじゃない、何で……」
B 「遊びに行くんだよ。あっちの学校で格安のアパート用意してくれてるし、観光ビザだと三ヶ月だけど一年いられるし」
A 「遊びたくない」
B 「お店、朝ちゃんがいるじゃない」
A 「一人じゃ大変だよ」
B 「……原田は？」
A 「麗子？」
B 「まだ一人だろ、あいつ？ 昔、喫茶店でバイトしてたよね」
A 「仕事があるよ」
B 「電話してみてよ」
A 「どうしてそう簡単に人にモノを頼めるの、あんたって」
B 「関谷に頼もうか、ここの留守番。あの人が別居してて、しかも仕事が全然ないって言った」
A 「別居してるの？」
B 「ああ」